

BOSE MUSIC AMPLIFIER

安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

UK CA この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。

- ・火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- ・万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。

- ・ 本製品に同梱の部品のみを使用してください。
- ・ 壁面の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などがある場合は、ブラケットを使用しないでください。ブラケットの取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。
- ・ 結露の可能性がある場所に製品を設置しないでください。
- ・ 以下の面のみに取り付けてください。
 - － ラック
 - － 厚さ10 mm以上の板壁
 - － コンクリート
 - － 木壁上記以外の壁に取り付ける場合は、専門業者に作業を依頼してください。
- ・ 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- ・ 火災を避けるため、本製品の下に暖房器具や調理器具を置かないでください。
- ・ 製品ラベルは本体の底面にあります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・本機と受信機の距離を離す。
- ・受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります:
(1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け:

運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz、5150 ~ 5350 MHz、および5470 ~ 5725 MHz

最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを5150 ~ 5350 MHzの周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべてのEU加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK(NI)	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/complianceにアクセスし、該当する規則を選択してください。本製品は、HiNA機能を搭載した機器です。

有線ネットワーク	
有線ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Ethernet: Ethernet接続を有効にするには、Ethernetケーブルの一方をサウンドバーのEthernet端子に、もう一方をEthernetソースに接続します。無効にするには、Ethernetケーブルを取り外してください。 補助モード: アンプを無効にしてメインに設定するには、 ADVANCED SETTINGS スイッチAを上位置にします。

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
有毒/有害物質および成分						
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	○	○	○	○	○
金属パーツ	X	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	X	○	○	○	○	○
ケーブル	X	○	○	○	○	○
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 ○: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

機器名: アンプ、型式: 437308						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「2」は2012年または2022年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

入力定格: 100 – 240V ~ 50/60Hz, 240W

CMIIT IDは製品底面のラベルに記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、製品底面のラベルに記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: 437308

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。

セキュリティ情報



この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Boseアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

Amazon、Alexa、Amazon Music、およびそれらに関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Apple、Appleのロゴ、Apple Music、およびAirPlayはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。

Works with Apple AirPlayバッジの使用は、アクセサリーがバッジに記載されている技術に特化して設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Google Cast、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

この製品はiHeartRadioサービスに対応しています。iHeartRadioはiHeartMedia, Inc.の登録商標です。

この製品はMicrosoftの特定の知的財産権によって保護されています。Microsoftから使用許諾を受けずに、保護対象の技術をこの製品以外で使用または配布することは禁じられています。

PandoraはPandora Media, Inc.の商標または登録商標であり、許可を得て使用しています。

この製品にはSpotifyソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます: www.spotify.com/connect/third-party-licenses

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose、Bose Bass Module、Bose Music Amplifier、Bのロゴ、Bose Noise Cancelling Headphones、QuietComfort、SimpleSync、SoundLink、SoundLink Revolve、およびVirtually Invisibleは、Bose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose Music Amplifier の製品コンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、次の手順を実行します。

1. アンプの *Bluetooth* ボタン  とリセットボタンを 15 秒間長押しします。
2. USB ケーブルをアンプの背面にある **SERVICE** 端子に接続します。
3. ケーブルのもう一方をパソコンに接続します。
4. パソコンのブラウザーウィンドウに「<http://203.0.113.1/opensource>」と入力して、エンドユーザー使用許諾契約書 (「EULA」) とライセンス開示情報を表示します。

内容物の確認

内容物	13
-----------	----

アンプの配置

推奨事項	14
------------	----

スピーカーの接続ガイド

スピーカーケーブルの長さについて	15
------------------------	----

スピーカーの接続	16
----------------	----

電源

アンプを電源に接続する	19
ネットワーク待機状態	19

BOSEアプリのセットアップ

Bose アプリをダウンロードする	20
-------------------------	----

BOSEアプリを既にお使いのユーザー

メインアンプを既存のアカウントに追加する	21
別の Wi-Fi® ネットワークに接続する	21

メインアンプと補助アンプ

使用例1	22
使用例2	23
使用例3	23

メインアンプの接続

Bose アプリを使用して接続する	24
Ethernet ケーブルを使用して接続する	24
追加のメインアンプを接続する	24

補助アンプを接続する

メインアンプに接続する	25
追加の補助アンプを接続する	25

アンプの各端子	26
---------------	----

アンプとスピーカーの設定

アンプの設定	27
スピーカーの設定	29

音声アシスタントの操作

Google アシスタント	30
Amazon Alexa	30

GOOGLE CAST™による音楽のストリーミング再生	31
-----------------------------------	----

AIRPLAYによる音楽のストリーミング再生

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する	32
アプリから音楽をストリーミング再生する	32

プリセットのカスタマイズ

プリセットを設定する	33
プリセットを再生する	33

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する	34
モバイル機器の接続を解除する	35
モバイル機器を再接続する	35
別のモバイル機器を接続する	35
アンプのデバイスリストを消去する	35

アンプの状態

Bluetooth とエラーの状態.....	36
Wi-Fi と電源の状態.....	37
メインアンプ.....	37
補助アンプ.....	37
アップデート、リセット、エラーの状態.....	38

高度な機能

Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える.....	39
過負荷保護機能.....	39

BOSE 製品への接続

Bose Bass Module を接続する.....	40
SimpleSync™テクノロジーにより Bose SoundLink <i>Bluetooth</i> speaker または Bose headphones を接続する.....	41
特長.....	41
対応製品.....	41
Bose アプリを使用して接続する.....	42
Bose SoundLink <i>Bluetooth</i> speaker または Bose headphones を再接続する.....	42

補足事項

アンプをアップデートする.....	43
メインアンプ.....	43
補助アンプ.....	43
アンプのお手入れについて.....	43
交換部品とアクセサリ.....	43
保証.....	43

仕様.....	44
---------	----

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	45
その他の対処方法	45
アンプをリセットする	51
アンプを工場出荷時のデフォルト設定に戻す	51

付録A: ラックへの取り付け

ブラケットを取り付ける	52
ラックに取り付ける	53
アンプを設置する	55

付録B: 壁への取り付け

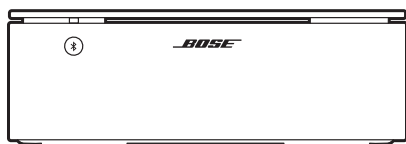
取り付け用部品の仕様(目安)	56
マウント用ブラケットを取り付ける	57
アンプを取り付ける	60

付録C: 外部ソースの接続

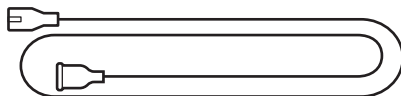
RCA 音声ケーブルを使用する	61
光ケーブルを使用する	61

内容物

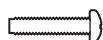
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose Music Amplifier



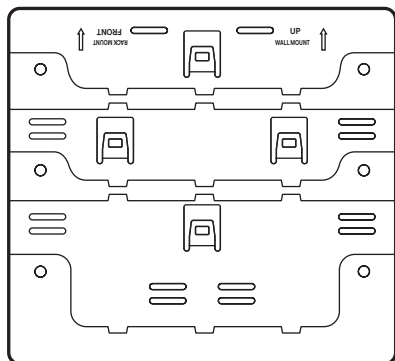
電源コード*



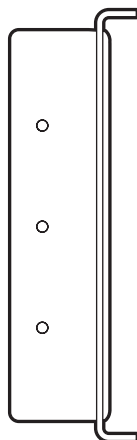
ラックマウント用ネジ(3)



ラックマウント用接続ネジ(3)



マウント用ブラケット



ラック用ブラケット

*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

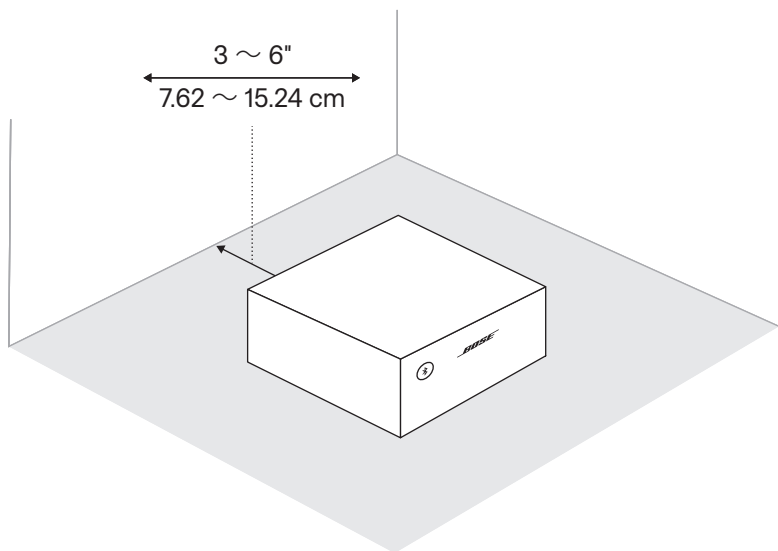
次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/BMA

推奨事項

- ・ アンプは屋内に設置します。
- ・ 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- ・ 無線の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から **30 ～ 90 cm** ほど離れた場所に設置してください。
- ・ アンプの性能を最大限に引き出すには、風通しの良い場所に設置してください。
- ・ アンプは棚の上に設置するか、ラックまたは壁に取り付けます。
- ・ ラックに取り付ける場合は、ラックマウントの矢印と4つのフックがラックの前面に向いていることを確認します (55 ページを参照)。
- ・ 複数のアンプをラックに取り付ける場合は、アンプごとに別のラックマウントを使用します。
- ・ 壁に取り付ける場合は、ウォールマウントの矢印と4つのフックが上に向いていることを確認します (57 ページを参照)。

注意:

- ・ アンプは、室温が **40°C (104°F)** 以下の場所に設置してください。
- ・ アンプの背面を壁や家具などから **7.62 ～ 15.24 cm** 以上離してください。アンプの背面からの空気の流れを妨げないでください。
- ・ 完全に密閉された場所にアンプを設置しないでください。熱でアンプの性能が低下する場合があります。



- ・ スピーカーを1組使用する場合、最小インピーダンスは 4Ω です。
- ・ スピーカーを2組使用する場合、最小インピーダンスは 8Ω です。

注意: アンプを内蔵していないスピーカーのみをお使いください。アンプ内蔵スピーカーを接続すると、機器が破損する恐れがあります。

スピーカーケーブルの長さについて

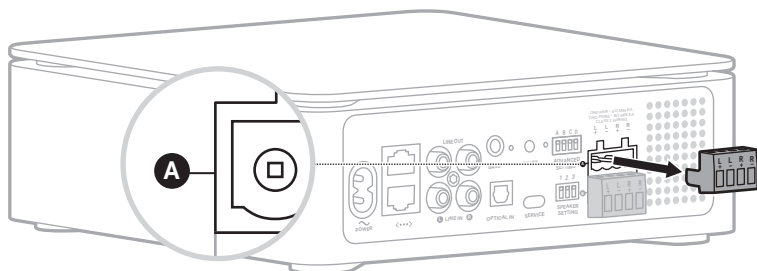
最大長	ゲージ
9 m (30 フィート)	18 (0.82 mm ²)
14 m (45 フィート)	16 (1.3 mm ²)
21 m (70 フィート)	14 (2.0 mm ²)

スピーカーを接続する前に、スピーカーを使用する場所に置き、アンプが電源コンセントに接続されていないことを確認します。

スピーカーケーブルは絶縁された2本のケーブルです。

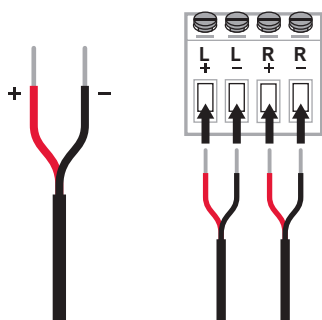
- ・ 印(ストライプ、波形、色など)が付いているケーブルをプラス(+)側に接続します。
- ・ 印のないケーブルをマイナス(-)側に接続します。

1. **SPEAKERS OUT** ポートからブロックコネクタ **A** を取り外します。

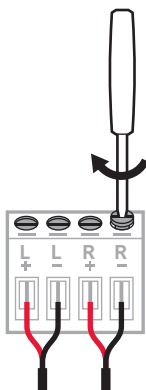


2. スピーカーケーブルをブロックコネクタ **A** に接続します。

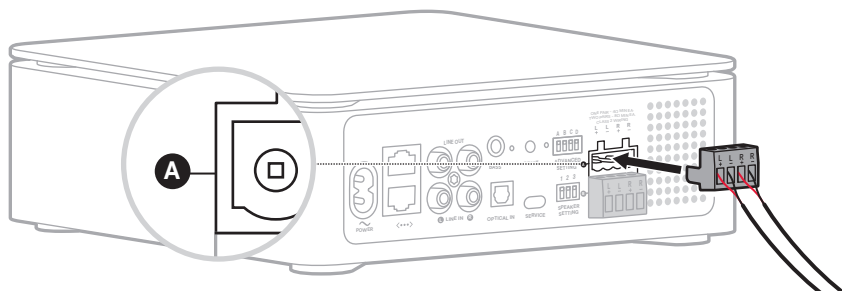
- a. **Left (左)**側スピーカーケーブルの印のある方をプラス(**L+**)側の端子に差し込み、印のない方をマイナス(**L-**)側の端子に差し込みます。
- b. **Right (右)**側スピーカーケーブルの印のある方をプラス(**R+**)側の端子に差し込み、印のない方をマイナス(**R-**)側の端子に差し込みます。



3. 細いマイナスドライバーを使用して、ネジを時計回りに回してケーブルを端子に固定します。



4. **SPEAKERS OUT** ポートにブロックコネクタ A を差し込みます。



5. スピーカーケーブルのもう一方をスピーカーに接続します。

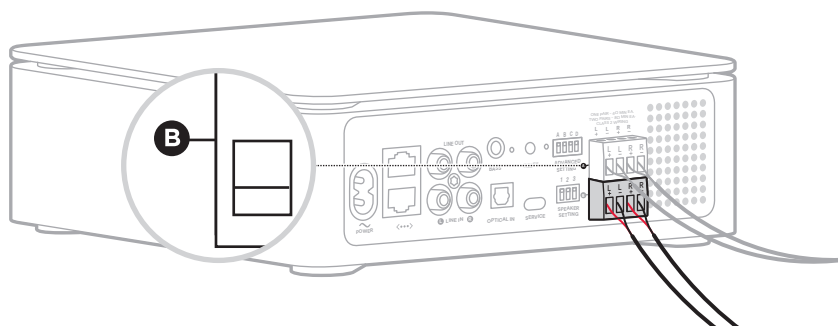
手順については、スピーカーのオンライン取扱説明書をご覧ください。

注: 屋外に設置したスピーカーのケーブル接続部分を保護するには、シリコンコーキング材をお使いください。コーキング材はホームセンターなどで求められます。

追加のスピーカーを接続する

より充実したサウンドを楽しむため、アンプにスピーカーを最大2組まで接続できます。

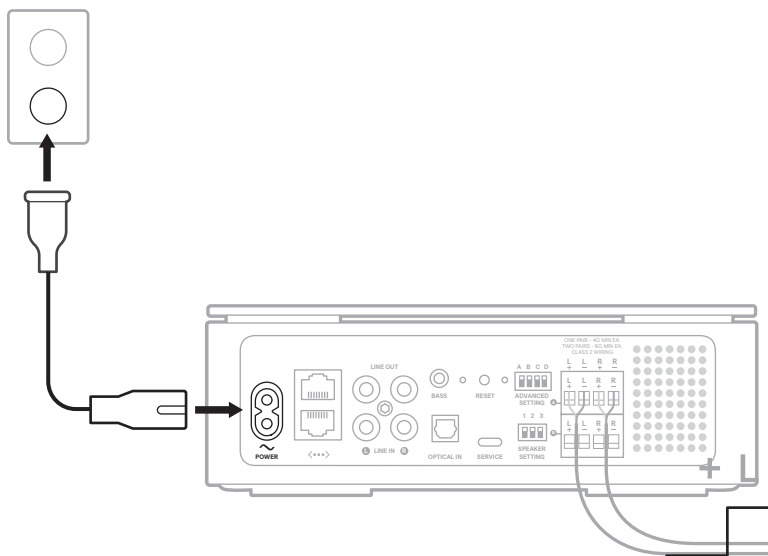
2組目のスピーカーを接続するには、「スピーカーの接続」(16 ページ)の手順を繰り返してブロックコネクタ **B** に接続します。



注: 2組のスピーカーを接続する場合、同じEQ設定が両方のスピーカーペアに適用されるため、最高の音質とバランスの取れた音量を楽しむには、同じスピーカーモデルを使用してください。

アンプを電源に接続する

1. 電源コードをアンプの背面にある **POWER** 端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



アンプ背面のインジケーターがゆっくりとオレンジに点滅します。

注記:

- ・ アンプのセットアップが完了し、メインアンプ(デフォルト)に設定されている場合、アンプ背面のインジケーターが白に点灯します。
- ・ アンプがセットアップされ、補助アンプに設定されている場合、アンプ背面のインジケーターが緑に点灯します。

ネットワーク待機状態

音楽の再生を停止してボタンを20分間操作しないと、アンプがネットワーク待機状態になります。アンプをネットワーク待機状態から復帰するには、モバイル機器の **Bose** アプリでオーディオを再生または再開するか、**Bluetooth** ソースを再接続します。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からメインアンプ(22ページを参照)のセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、音楽のストリーミング再生、音楽サービスの追加、インターネットラジオ局の検索、プリセットの設定と変更、音声アシスタントの操作、メインアンプの設定の管理、アップデートと新機能の適用を行うことができます。

注: 別のBose製品用のBose アカウントを既に作成してある場合は、既存のアカウントにアンプを追加します(21ページを参照)。

BOSE アプリをダウンロードする

1. モバイル機器でBose アプリをダウンロードします。



2. アプリの指示に従って、アンプの設定を行います。

メインアンプを既存のアカウントに追加する

Bose Music Amplifier を追加するには、Bose アプリを開いてアンプを追加します。

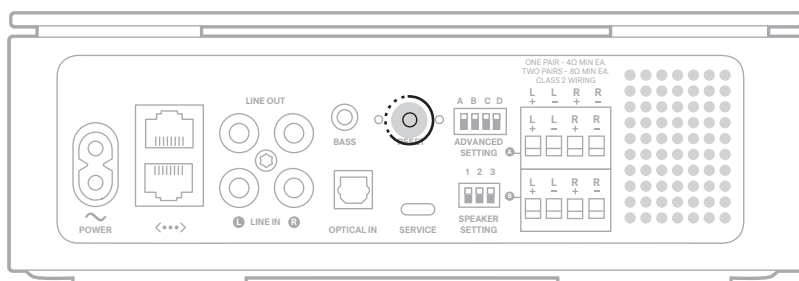
注記:

- Bose アプリを使用して追加できるのはメインアンプのみです。補助アンプはネットワーク上や Bose アプリには表示されません。
- 複数のスピーカーで同じ音楽を同時に再生するには、Bose アプリを使ってメインアンプをグループ化します。このオプションはメインページから設定できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/BMAGrouping

別のWi-Fiネットワークに接続する

ネットワーク名やパスワードを変更した場合や、他のネットワークに変更する、または追加する場合は、異なるネットワークに接続します。

1. アンプ背面のインジケータがゆっくりとオレンジに点滅するまで、リセットボタンを5秒間長押しします。



2. お使いのモバイル機器で、Wi-Fi設定を開きます。
3. **[Bose Music Amplifier]**を選択します。
4. Bose アプリを開いて、アプリに表示される手順に従います。

アンプは最大2組のスピーカーに電源を供給できます。また、アンプはメインアンプ(デフォルト)または補助アンプ(27ページを参照)として設定することができます。

メインアンプは、Wi-Fi接続またはEthernetケーブル(別売)を使用してネットワークに接続します。Boseアプリ、モバイル機器、またはネットワークに接続された音声アシスタント対応機器を使ってコントロールすることができます。

補助アンプは、RCA 音声ケーブルでメインアンプと接続され、メインアンプの音声出力を受信します。補助アンプはメインアンプと同じ音楽を再生しますが、ネットワーク上やBoseアプリ、モバイル機器には表示されず、**LINE IN**端子からの音声のみを再生できます。

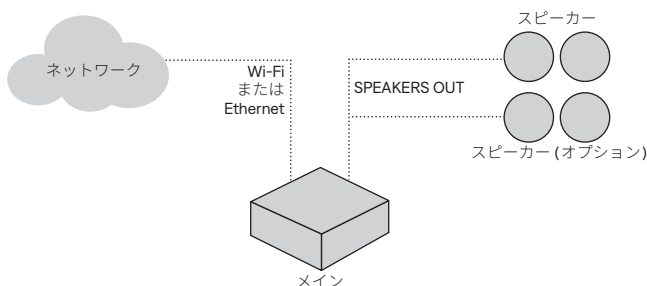
メインアンプに最大4台の補助アンプを接続し、最高の音質を実現することができます。アンプは、設置環境の場所や大きさ、何台のスピーカーに電源を供給したいか、どのような場所で音楽を再生したいかに応じて構成することができます。

注記:

- ・メインアンプに補助アンプを接続する場合、最高の音質とバランスのとれた音量を楽しむには、同じモデルのスピーカーをアンプ1台につき同じ台数接続する必要があります。
- ・環境によっては、パフォーマンスに影響を与えることなく、メインアンプに4台以上の補助アンプを接続することができます。

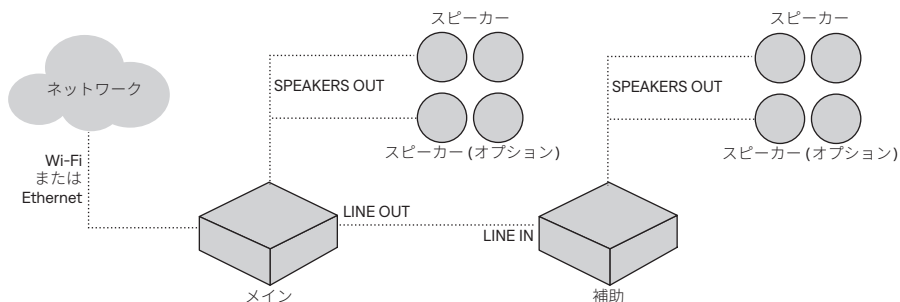
使用例1

同じ空間で最大2組のスピーカーをコントロールします。スピーカーはほとんど遅延なく同じ音楽を再生できます。



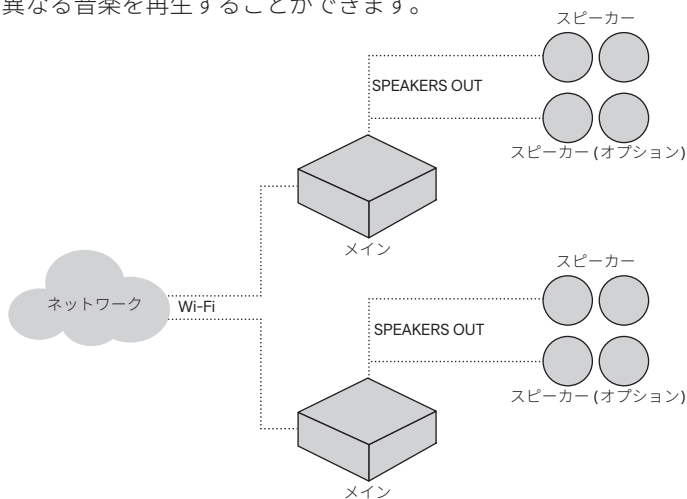
使用例2

広い空間で複数ペアのスピーカーをコントロールします。すべてのスピーカーの電源を同時にオン/オフし、ほとんど遅延なく同じ音楽を再生できます。



使用例3

複数のシステム(アンプとスピーカー)を独立してコントロールし、それぞれのシステムで異なる音楽を再生することができます。



注記:

- メインアンプは、Ethernetケーブルを使ってネットワークに接続することもできます(24ページを参照)。
- 複数ペアのスピーカーを接続する場合、同じEQ設定がスピーカーに適用されるため、最高の音質とバランスの取れた音量を楽しむには、同じスピーカーモデルを使用してください。
- すべてのスピーカーで同じ音楽を同時に再生する場合、最高の音質を得るには、Boseアプリを使ってメインアンプをグループ化します。このオプションはメインページから設定できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください:
support.Bose.com/BMAGrouping

Bose アプリまたは Ethernet ケーブル (別売) を使用して、メインアンプをネットワークに接続します。

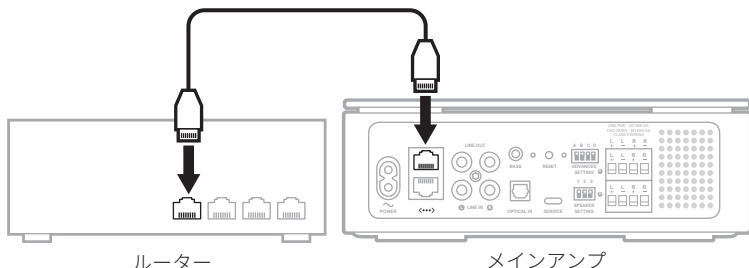
BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してメインアンプをネットワークに接続するには、20 ページをご覧ください。

ETHERNET ケーブルを使用して接続する

注: Bose アプリによるセットアップを終了せずに Ethernet ケーブルでネットワークに接続した場合、*Bluetooth* ソースからの音楽のみ再生可能です。

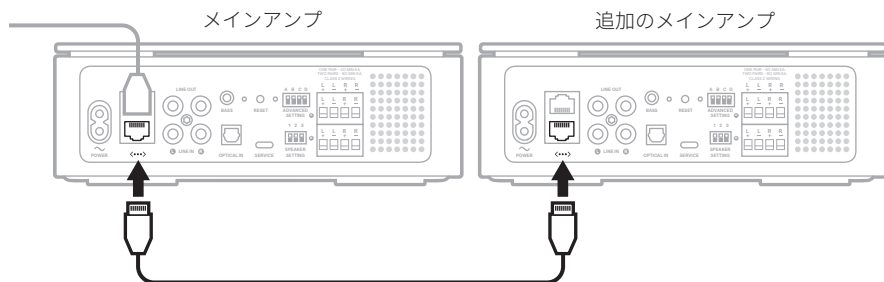
1. ルーターの Ethernet ポートに Ethernet ケーブルの一方を接続します。
2. メインアンプの Ethernet ポートにケーブルのもう一方を接続します。



追加のメインアンプを接続する

増設するメインアンプは、ルーターに直接接続するか (「Ethernet ケーブルを使用して接続する」を参照)、最初のメインアンプに直接接続することができます。

1. メインアンプの Ethernet ポートに Ethernet ケーブルの一方を接続します。
2. 増設するメインアンプの Ethernet ポートにケーブルのもう一方を接続します。

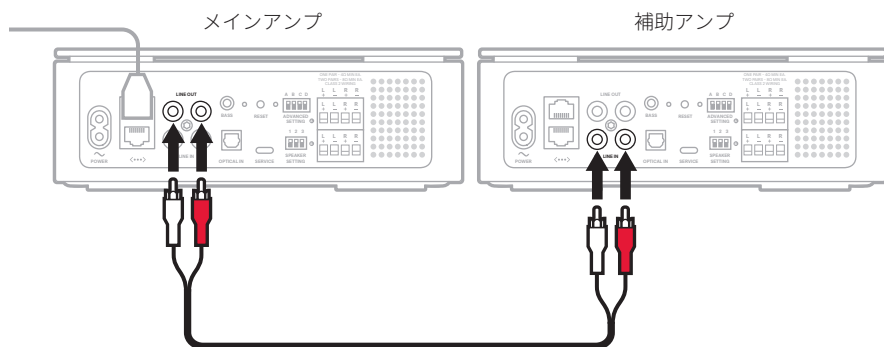


RCA 音声ケーブル(別売)を使って、補助アンプをメインアンプまたは別の補助アンプと接続します。

注: メインアンプに最大4台の補助アンプを接続し、最高の音質を実現することができます。環境によっては、パフォーマンスに影響を与えることなく、アンプを追加接続することができます。

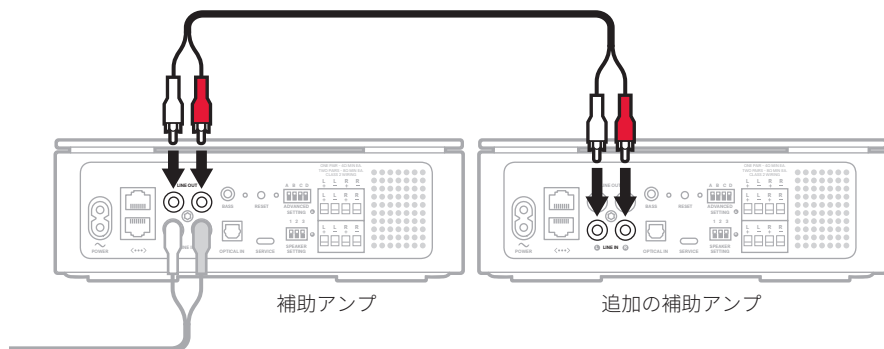
メインアンプに接続する

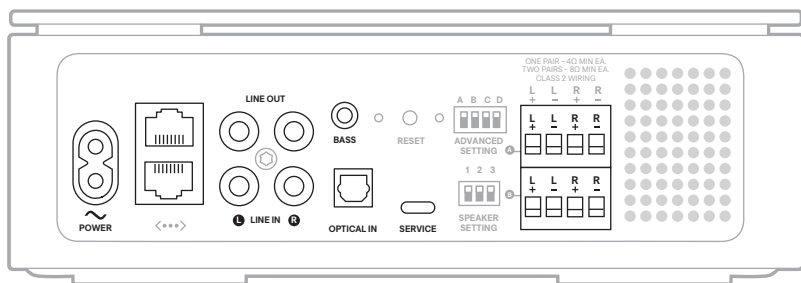
1. メインアンプの白い **LINE OUT** 端子に音声ケーブルの白いコネクタを接続し、赤い **LINE OUT** 端子に赤いコネクタを接続します。
2. 補助アンプの白い **LINE IN** 端子にもう一方の白いコネクタを接続し、赤い **LINE IN** 端子に赤いコネクタを接続します。



追加の補助アンプを接続する

1. 補助アンプの白い **LINE OUT** 端子に音声ケーブルの白いコネクタを接続し、赤い **LINE OUT** 端子に赤いコネクタを接続します。
2. 増設する補助アンプの白い **LINE IN** 端子にもう一方の白いコネクタを接続し、赤い **LINE IN** 端子に赤いコネクタを接続します。

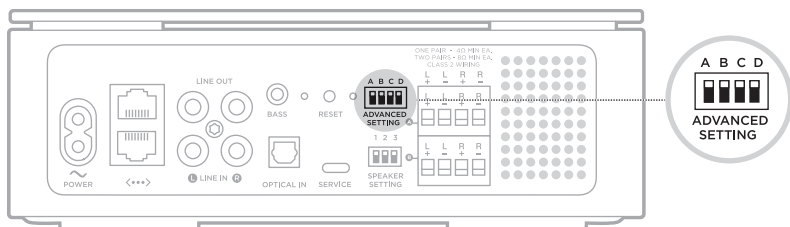




端子	説明
POWER	電源コードをPOWER端子に差し込んで電源コンセントに接続すると、アンプの電源が入ります(19ページを参照)。
<...>	Ethernetケーブル(別売)を使用して、メインアンプをネットワークに接続したり複数のメインアンプを接続したりできます。24ページをご覧ください。
LINE OUT LINE IN	RCA音声ケーブル(別売)を使用して、補助アンプや外部ソースを接続することができます。61ページをご覧ください。
BASS	3.5mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用して、Bose Bass Moduleを接続することができます。40ページをご覧ください。
OPTICAL IN	光ケーブル(別売)を使用して、補助アンプや外部ソースを接続することができます。61ページをご覧ください。
SERVICE	サービス用USB Type-C®端子です。
SPEAKERS OUT	最大2組のスピーカーを接続することができます(18ページを参照)。

アンプの設定

希望するアンプの使用方法に応じて、**ADVANCED SETTING** スイッチを設定します。アンプを設定するには、該当する**ADVANCED SETTING** スイッチを下に倒します。



モード	スイッチ	ポジション	説明
メイン	A - 上		アンプをメインアンプに設定します。 注: メインアンプは、Bose アプリまたは Ethernet ケーブル (別売) を使用してネットワークに接続できます。24 ページをご覧ください。
補助	A - 下		アンプを補助アンプに設定します。 注記: - 補助アンプは、メインアンプ (または他の補助アンプ) と RCA 音声ケーブルで接続して、メインアンプからの音声を LINE IN 端子で受信して再生します。 - 補助アンプはネットワークに接続できず、Bose アプリには表示されません。
N/A	B		将来的に使用する予備です。
ステレオ	C - 上		オーディオ出力をステレオに設定します。
モノラル	C - 下		オーディオ出力をモノラルに設定します。 注: スピーカーが離れている場合はモノラルが最適です。

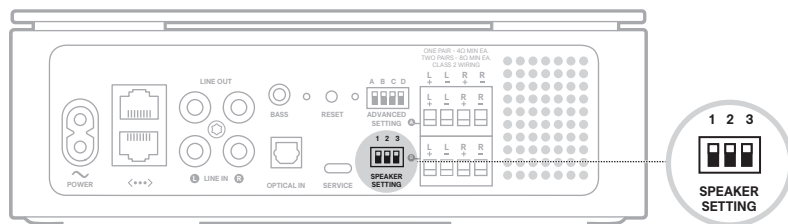
モード	スイッチ	ポジション	説明
LINE OUT: 可変音量	D-上		Bose アプリを使用して音量を調節します。 注: この設定は、メインアンプの LINE OUT 端子の音声出力に適用され、補助アンプの音量に影響します。
LINE OUT: 固定音量	D-下		音量コントロールが可能な接続機器を使用して音量を調節します。 注記: - 音量が固定されている場合、Bose アプリでの音量調節はできません。 - この設定はメインアンプに適用されます。

注記:

- すべてのスイッチのデフォルト位置は上です。
- 各スイッチは独立して設定できます。
- アンプの電源が入っているときに **ADVANCED SETTING** スイッチを動かすと、アンプはリセットされます。

スピーカーの設定

Bose 251 Environmental SpeakerまたはBose Virtually Invisible 791スピーカーにはカスタマイズしたEQ設定を適用できます。それ以外のスピーカーでは、デフォルトのEQ設定が使用されます。



カスタマイズしたEQ設定をBose 251 Environmental SpeakerまたはBose Virtually Invisible 791スピーカーに適用するには、該当する**SPEAKER SETTING**スイッチを下に倒します。それ以外のスピーカーにデフォルトのEQ設定を適用する場合は、すべてのスイッチを上のままにしてください。

製品	スイッチ			ポジション
Bose 251 Environmental Speaker	1 - 下	2 - 上	3 - 上	1 2 3
Bose Virtually Invisible 791 Speaker	1 - 上	2 - 下	3 - 上	1 2 3
その他のスピーカー	1 - 上	2 - 上	3 - 上	1 2 3

注:

- すべてのスイッチのデフォルト位置は上です。
- 上の表に表示されている以外の組み合わせを使用した場合、デフォルトのEQ設定が適用されます。

GOOGLE アシスタント

このアンプは、ネットワークに接続された Google アシスタント対応機器に対応しています。Google を使って声だけでアンプを操作できます。

最初に「OK Google」と呼びかけてから、<アンプ名>とリクエストを言います。たとえば、お気に入りの音楽を再生してみましょう。「OK Google、ファミリールームでワークアウトのプレイリストをかけて」と話すだけです。

注記:

- Bose アプリで設定したアンプ名を必ず話してください。複数のアンプが同じ名前の場合は、Google アシスタントアプリで設定した名前を使用するか、Bose アプリで名前を変更します。
- 一部の言語や国では Google アシスタントを利用できません。
- Google アシスタントでできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：
<https://support.google.com/assistant>

AMAZON ALEXA

Alexa 搭載した機器をネットワークに接続している場合は、その機器から音声コマンドでアンプを操作することができます。音声コントロールを設定するには、機能を有効にして、Alexa アカウントと Bose アカウントをリンクします。その後は、Alexa に音楽を再生するようにリクエストするだけです。

最初に「アレクサ」と呼びかけてから、<アンプ名>とリクエストを言います。たとえば、お気に入りの音楽を再生してみましょう。「アレクサ、ファミリールームでワークアウトのプレイリストをかけて」と話すだけです。

注記:

- Bose アプリで設定したアンプ名を必ず話してください。複数のアンプが同じ名前の場合は、Alexa アプリで設定した名前を使用するか、Bose アプリで名前を変更します。
- 一部の言語や国では Alexa を利用できません。
- Alexa でできることの詳細については、次のサイトをご覧ください：
<https://www.amazon.com/usealexa>

このアプリはGoogle Castに対応しています。Google Castでは、「キャスト」ボタンをタップするだけで、対応アプリの音楽をストリーミング再生することができます。

注記:

- Google Castを使用するには、Wi-Fi接続が必要です。
- 新しいアプリのサポートは定期的に追加されます。

スマートフォンがリモコン代わり

- 既にご利用のアプリで[キャスト]ボタンをタップするだけです。新たなログインやダウンロードは必要ありません。
- スマートフォンを使って、家中どこからでも検索、再生、一時停止、音量アップが可能です。
- ストリーミング再生中は、スマートフォンで他の操作を続けることができ、ソーシャルメディアの閲覧や、メッセージの送信、通話などが可能です。
- Google Cast対応のサウンドバーでキャストによるマルチルーム再生を使えば、家中どこでも音楽が楽しめます。

スケジュールに合わせて無制限に楽しめる

Pandora、Spotify、TuneInなどの人気音楽サービスから数百万曲を選ぶことができます。

Google Castを有効にするには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

このアンプはAirPlay 2オーディオの再生に対応しており、お持ちのApple製品からこのアンプに音楽を簡単にストリーミング再生することができます。

注記:

- AirPlay 2を使用するには、iOS 11.4以降を実行しているApple製品が必要です。
- Apple製品とアンプは同じWi-Fiネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayの詳細情報については、次のサイトをご覧ください:
<https://www.apple.com/airplay>

コントロールセンターから音楽をストリーミング再生する

1. Apple製品でコントロールセンターを開きます。
2. 画面の右上隅にあるオーディオカードを長押しして、AirPlayアイコン  をタップします。
3. アンプを選択します。

アプリから音楽をストリーミング再生する

1. 音楽アプリ(Apple Musicなど)を開き、再生する曲を選択します。
2.  をタップします。
3. アンプを選択します。

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ放送局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを自由に登録できます。Boseアプリのボタンをタップするだけで、音楽をいつでも簡単に再生できます。

注: ソースがBluetooth接続機器の場合、プリセットの設定はできません。

プリセットを設定する

1. アプリを使用して音楽をストリーミング再生します。
2. 音楽を再生しているときに、アプリのプリセットボタンを長押しします。

プリセットを再生する

プリセットを設定したら、Boseアプリのプリセットボタンを押して再生できます。

モバイル機器を接続する

1. メインアンプの前面にある *Bluetooth* ボタン  を押します。



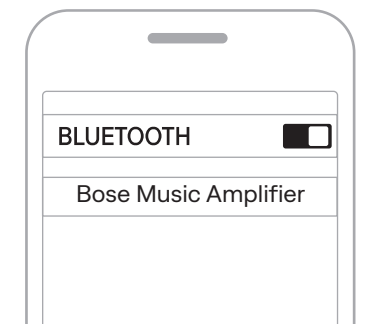
アンプ前面のインジケーターがゆっくと青に点滅します。

2. モバイル機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* メニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストから本製品を選択します。

注: Bose アプリでアンプに付けた名前を探してください。アンプに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、アンプ前面のインジケーターが青に点灯してから次第に消灯します。モバイル機器のリストにアンプの名前が接続済みと表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の接続を解除するには、Bose アプリを使用します。

ヒント: モバイル機器の *Bluetooth* 設定を使用することもできます。*Bluetooth* 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

Bluetooth ボタン※を押します。

アンプは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。

注記:

- ・ モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- ・ 機器との距離が9 m以内で、電源がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

アンプのデバイスリストには、機器を最大8台記憶できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

1. アンプ前面のインジケーターがゆっくりと青に点滅するまで、※ ボタンを長押しします。
2. モバイル機器で、デバイスリストから本製品を選択します。

注: モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。

アンプのデバイスリストを消去する

1. アンプ前面のインジケーターが青に3回点滅するまで、※ ボタンを10秒間長押しします。
2. モバイル機器の *Bluetooth* リストからアンプを削除します。

すべての機器の情報が消去されます。アンプが接続可能な状態になります (34 ページを参照)。

BLUETOOTHとエラーの状態

アンプ前面のインジケータには、モバイル機器とのBluetooth接続状態やエラーの警告が表示されます。

Bluetoothとエラーの状態



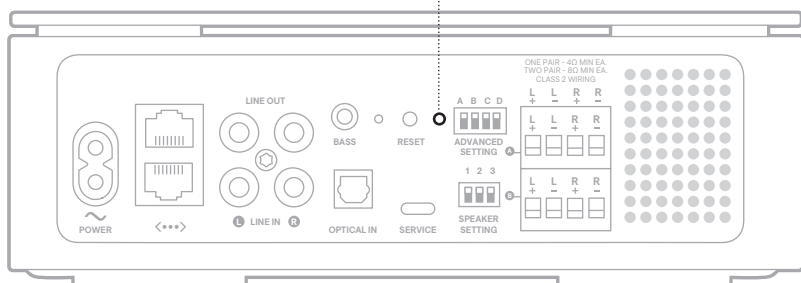
インジケータの表示

システムの状態

青の遅い点滅	モバイル機器に接続できます
青の点滅	モバイル機器に接続中
青に点灯してから次第に消灯	モバイル機器に接続しました
青の3回点滅	デバイスリストを消去しました
青と赤の交互点滅(3秒間)	Bluetooth接続不可(補助アンプ)
赤の点灯	重大なエラー(ハードウェア)、Boseカスタマーサービスに連絡してください 注: アンプの前面と背面のインジケータが同時に赤に点灯します。

アンプ背面のインジケーターには、Wi-Fi、電源、システムの状態が表示されます。

Wi-Fi、電源、システムの状態



Wi-Fiと電源の状態

メインアンプ

メインアンプのWi-Fiと電源の状態を示します。

インジケーターの表示 システムの状態

白の遅い点滅	起動中
白の点灯	電源オン
オレンジの遅い点滅	Wi-Fiセットアップ準備完了
オレンジの点灯	Wi-Fiセットアップ中
白の遅い点滅	Wi-Fiに接続中
白の点灯	Wi-Fiに接続しました

補助アンプ

補助アンプの電源の状態を示します。

インジケーターの表示 システムの状態

緑の遅い点滅	起動中
緑の点灯	電源オン

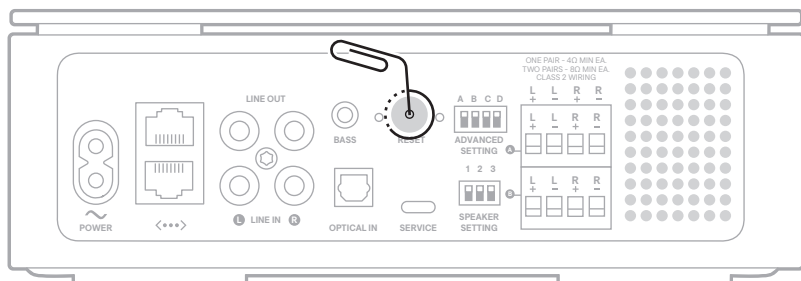
アップデート、リセット、エラーの状態

ソフトウェアアップデート、リセット、エラー警告の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
白の点滅	アップデートをインストールしています
白の点灯	アップデートが完了しました
赤の3回点滅	リセットが完了しました
オレンジの点灯	Wi-Fiエラー (メイン)、Bose カスタマーサービスに連絡してください
オレンジの4回点滅	重大でないエラー (ネットワーク接続エラーまたはソースエラー)
赤の点灯	重大なエラー (ハードウェア)、Bose カスタマーサービスに連絡してください 注: アンプの前面と背面のインジケータが同時に赤に点灯します。

Wi-Fi機能のオン/オフを切り替える

アンプ背面の穴に細いゼムクリップの先端を差し込み、アンプ背面のインジケータが白に3回点滅するまで2秒間長押しします。



注： Wi-Fi機能の有効/無効を切り替えると、*Bluetooth*機能の有効/無効も切り替わります。

過負荷保護機能

アンプには、過熱防止のために最大出力を自動的に低減する過負荷保護機能が搭載されています。アンプを大音量に設定して音楽を長時間再生したり、換気の悪い場所にアンプを設置したりすると、この機能が動作する場合があります。アンプの温度が下がると、最大出力は自動的に元に戻ります。

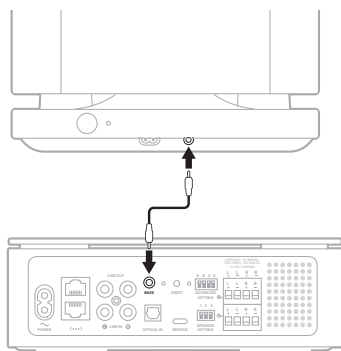
BOSE BASS MODULE を接続する

Bose Bass Module とアンプの接続には、3.5mm ステレオ音声ケーブル(別売)を使用します。

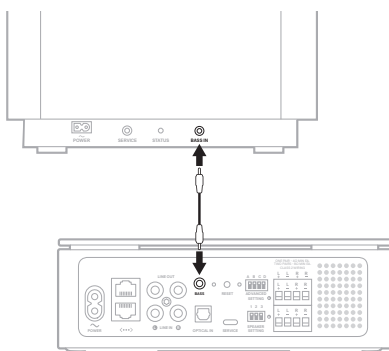
注記:

- 3.5mm 音声ケーブルはステレオのシールドされたものを使用してください。
 - 3.5 mm 音声ケーブルをお持ちでない場合は、長さ 4.5 m のケーブルをお求めください。ケーブルはお近くの家電量販店などでもお求めになれます。
1. アンプの **BASS** 端子に 3.5 mm 音声ケーブルの一方を接続します。
 2. ケーブルの反対側をベースモジュールの **BASS IN** 端子に接続します。

Bose Bass Module 500



Bose Bass Module 700



注: ベースモジュールの詳細については、ベースモジュールの取扱説明書をご覧ください。次のサイトをご参照ください。

Bose Bass Module 700: [Bose.com/BM700](https://www.bose.com/BM700)

Bose Bass Module 500: [Bose.com/BM500](https://www.bose.com/BM500)

SIMPLESYNC™ テクノロジーにより BOSE SOUNDLINK BLUETOOTH SPEAKER または BOSE HEADPHONES を接続する

Bose SimpleSync™ テクノロジーにより、一部の Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose ヘッドホンをアンプに接続して、新しい方法で音楽や映画を楽しむことができます。

特長

音楽をヘッドホンで楽しむ: Bose ヘッドホンをアンプに接続して、他の人に迷惑をかけずにテレビの音や音楽を聴くことができます。製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、アンプの音量を下げたりミュートしたりできます。

別の部屋で音楽を同時に楽しむ: Bose SoundLink *Bluetooth* speaker をアンプに接続して、同じ曲を2つの部屋で同時に聴くことができます。

注記:

- SimpleSync™ テクノロジーは、最大9 mの*Bluetooth* 通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。環境によっては、これより広い範囲で機能する場合があります。
- SimpleSync™ テクノロジーを使用している場合、*Bluetooth* ソースを使ったストリーミング再生はできません。

対応製品

ほとんどの Bose SoundLink *Bluetooth* speaker と Bose ヘッドホンをアンプに接続できます。

対応製品の例:

- Bose SoundLink Revolve+ *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Mini *Bluetooth* speaker
- Bose SoundLink Color *Bluetooth* speaker
- Bose Noise Cancelling Headphones 700
- Bose QuietComfort 35 wireless headphones

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。worldwide.bose.com/Support/Groups

BOSE アプリを使用して接続する

Bose SoundLink *Bluetooth* speaker または Bose headphones をアンプに接続するには、BOSE アプリを使用します。詳しくは、次のサイトをご覧ください：
support.bose.com/BMAGrouping

注記:

- 接続する製品の電源がオンになっていて、アンプから 9 m 以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。
- アンプと一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SOUNDLINK *BLUETOOTH* SPEAKER または BOSE HEADPHONES を再接続する

BOSE アプリを使用して、以前に接続していた対応 Bose 製品にアンプを再接続できます。

詳しくは、support.bose.com/BMAGrouping をご覧ください。

注: アンプが通信範囲内 (9 m) にあり、電源が入っている必要があります。

アンプをアップデートする

メインアンプ

Bose アプリでセットアップを完了し、メインアンプを Wi-Fi ネットワークに接続すると、アンプは自動的にアップデートされます。

補助アンプ

1. スイッチ A を上にして、メインアンプに設定します。
2. Bose アプリにアンプを追加します (24 ページを参照)。

アンプは自動的にアップデートされます。アップデートが完了すると、アンプ背面のインジケーターが白に点灯します。

3. スイッチ A を下にして、補助アンプに戻します。

アンプのお手入れについて

アンプの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

手が届きにくい部分は、ブラシ付きのノズルを使用し、掃除機の弱いパワーで清掃します。

注意:

- ・ お手入れの前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ アンプの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- ・ 開口部に液体が入らないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose 製品取扱店、弊社 Web サイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/BMA

保証

製品保証の詳細は worldwide.Bose.com/Warranty をご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

仕様	値
外形寸法(概算)	幅21 cm x 奥行21 cm x 高さ7.3 cm (8 ¼" x 8 ¼" x 2 9/16")
質量(アンプのみ)	2,186g (4.8 ポンド)
電源定格	100 ～ 240V 〰 50/60 Hz、240W
入力感度	RCAピン入力: 2Vrms
S/N比	>100 dB
出力(連続平均)	125W / チャンネル、最小インピーダンス 8Ω、20 ～ 20,000 Hz、全高調波歪率 0.1% 以下
使用温度範囲	0° C ～ 35° C (32° F ～ 95° F) 注: 環境によっては、推奨温度範囲外でもパフォーマンスに影響を与えることなく動作させることができます。

最初にお試しいただくこと

アンプに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ・アンプが接続されているコンセントに電源が供給されていることを確認します。
- ・すべてのケーブルとスピーカーケーブルをしっかりと接続します。
- ・アンプの状態を確認します(36ページを参照)。
- ・アンプとモバイル機器を干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- ・アンプが正しく動作するように、無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- ・スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、**Bose** カスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
ネットワーク設定を完了できない	アンプがメインアンプに設定されていることを確認します(27ページを参照)。 正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します。 モバイル機器とアンプを同じWi-Fiネットワークに接続します。 セットアップに使用するモバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。 モバイル機器のデフォルトブラウザを変更します。 開いている他のアプリケーションを終了します。 モバイル機器とルーターを再起動します。 アンプをルーターの通信範囲内に設置します。 アンプをリセットします(51ページを参照)。 ルーターが2.4GHz帯と5GHz帯の両方に対応している場合は、モバイル機器とアンプが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。 Bose アプリをアンインストールし、アンプを出荷時の設定に戻してから(51ページを参照)、セットアップをやり直します。

症状	対処方法
ネットワークに接続できない	アンプがメインアンプに設定されていることを確認します (27 ページを参照)。 アンプがメインアンプに設定され、Ethernet ポートに機器が接続されている場合、その機器が別の Bose Music Amplifier であることを確認します。 Bose アプリで、正しいネットワーク名を選択して、ネットワークのパスワードを入力します (大文字と小文字を区別して入力してください)。 アンプとモバイル機器が同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。 セットアップに使用するモバイル機器の Wi-Fi 機能を有効にします。 モバイル機器で開いている他のアプリケーションを終了します。 複数のアンプをケーブルで接続している場合は、接続台数を減らします。 Ethernet ケーブルを使用して、メインアンプをネットワークに接続します (24 ページを参照)。 Ethernet ケーブルでネットワークに接続されている場合: ・ ケーブルをチェックします (24 ページを参照)。 ・ 別の Ethernet ケーブルを使用します (24 ページを参照)。 ネットワークの設定情報を変更した場合は、21 ページをご覧ください。 モバイル機器とルーターを再起動します。 ルーターが 2.4GHz 帯と 5GHz 帯の両方に対応している場合は、機器 (モバイル機器やパソコン) とアンプが同じ周波数帯を使用して接続していることを確認します。 注: 各周波数帯に固有の名前を付けて、正しい周波数帯に接続していることを確認してください。 ルーターをリセットします。 別のネットワークに接続し、アプリでセットアップ画面が表示されない場合は、メイン画面を開いてアンプを追加します。
モバイル機器で Bose アプリが動作しない	お使いのモバイル機器が Bose アプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。 モバイル機器で Bose アプリをアンインストールしてから、アプリを再インストールします (20 ページを参照)。

症状	対処方法
音質が良くない、音が歪む	スピーカーを2組接続する場合は、同じスピーカーモデルを使用します。 スピーカーの互換性を確認します。スピーカーを1組使用する場合は最小インピーダンスが4Ω、スピーカーを2組使用する場合は最小インピーダンスが8Ωです。 Boseアプリを使用して、メインアンプをグループ化します(21ページを参照)。 アンプがRCA音声ケーブルまたは光ケーブルで外部ソースに接続されている場合は、Boseアプリを使用してアンプが設定されていることを確認します(20ページを参照)。 EthernetケーブルまたはRCA音声ケーブルで接続されている場合: ・ アンプの接続台数を減らします。 ・ Ethernetケーブル(24ページを参照)またはRCA音声ケーブル(25ページを参照)をチェックします。 ・ 別のEthernetケーブル(24ページを参照)またはRCA音声ケーブル(25ページを参照)を使用します。
音が途切れる/聞こえない	アンプがメインアンプに設定され、Ethernetポートに機器が接続されている場合、その機器が別のBose Music Amplifierであることを確認します。 スピーカー背面の端子とアンプの端子パネルにスピーカーケーブルをしっかりと接続します。スピーカーケーブルの両極がお互いに接触していないことを確認します(16ページを参照)。 外部音楽ソースがアナログ入力(赤と白のステレオピンジャック)または光入力にしっかりと接続されていることを確認します。 他のオーディオ/ビデオストリーミングアプリを停止します。 アンプとモバイル機器(または音楽再生アプリ)のミュートを解除するか、音量を上げます。 電源コードをコンセントから抜き、1分待ってから差し直します。 モバイル機器とルーターを再起動します。 音量がミュートされていないか、小さすぎないかを確認します。
干渉がある(音が乱れる)	アンプが金属物や他のAV機器、熱源などの近くにないことを確認します(14ページを参照)。 ルーターのチャンネルまたは周波数帯を変更します。ルーターの取扱説明書をご覧ください。 Ethernetケーブルを使用して、メインアンプを接続します(24ページを参照)。
スピーカーから音が出ない	スピーカーケーブルに傷などがいないか確認します(16ページを参照)。 アンプの電源を抜き、3分間待ちます。アンプに電源を再度接続します(19ページを参照)。 Boseアプリを使用してコンテンツを再生します。

症状	対処方法
片側のスピーカーから音が出ない	スピーカーケーブルに傷などがいないか確認します。 音が出る方のスピーカーからケーブルを外して、音が出ない方のスピーカーに接続します。それでも音が出ない場合は、ケーブルではなくスピーカーに問題がある可能性があります。 ブロックコネクタからスピーカーケーブルを外します。そのケーブルをもう一方のブロックコネクタに接続します。これでスピーカーから音が出る場合は、反対側のスピーカーケーブルに問題がある可能性があります。スピーカーケーブルを交換します。それでも音が出ない場合は、アンプのチャンネルに問題がある可能性があります。
ステレオの左右のチャンネルが逆から聞こえる	スピーカーケーブルに傷などがいないか確認します(16ページを参照)。 アナログケーブルの赤と白のコネクタが、アンプの赤と白の端子と、外部音楽ソースの赤と白の端子にそれぞれ正しく接続されていることを確認します。
低音または高音が小さい	スピーカーケーブルに傷などがいないか確認します(16ページを参照)。 傷がない場合は、位相がずれている可能性があります。 スピーカーの互換性を確認します。スピーカーを1組使用する場合は最小インピーダンスが4Ω、スピーカーを2組使用する場合は最小インピーダンスが8Ωです。 Boseアプリでアンプのソフトウェアが最新のものであることを確認します。 Boseアプリを使用して低音または高音を調整します。
Bluetooth接続でモバイル機器と接続できない	アンプがメインアンプに設定されていることを確認します(27ページを参照)。
Bluetooth対応機器の音楽を再生できない	モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、オンにします。Bluetoothリストからアンプを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。 対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。 アンプから9 m以内にあり、大きな金属製の障害物がないことを確認します。 モバイル機器のBluetoothリストからアンプを削除します。もう一度接続してみます(34ページを参照)。 Boseアプリのセットアップを行ってから、更新を実行します。 別のモバイル機器と接続して試してみてください(35ページを参照)。 アンプのデバイスリストを消去します(35ページを参照)。もう一度接続してみます(34ページを参照)。

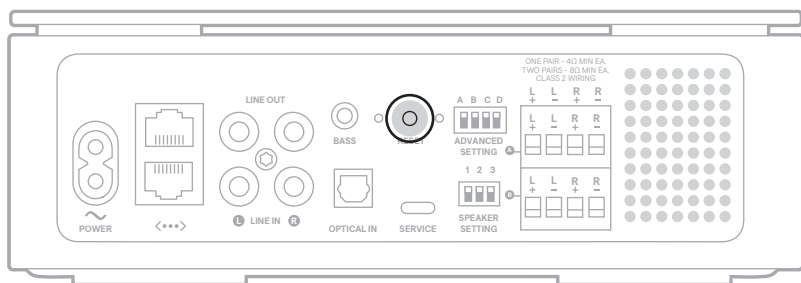
症状	対処方法
AirPlayを使用して音楽をストリーミング再生できない	アンプの電源がオンになっていて、通信範囲内にあることを確認します (19 ページを参照)。 Apple 製品とアンプが同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。 Apple 製品をアップデートします。 アンプが最新の状態であることを確認します (43 ページを参照)。 ストリーミング再生する音楽アプリで AirPlay アイコン  が見つからない場合は、コントロールセンターから音楽をストリーミング再生してください。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://www.apple.com/airplay
Google アシスタントが反応しない	Google アシスタント対応機器がネットワークに接続されていることを確認します。 Google アシスタントが Bose アプリを使用して設定されていることを確認します (30 ページを参照)。 注: Bose アプリを使用してアンプを設定し、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。 モバイル機器を Wi-Fi に接続します。 Google アシスタントが利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンの Google アシスタントアプリを使用していることを確認します。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 Bose アプリで設定した名前を言っていることを確認します。 Bose アプリと Google アシスタントアプリでは、必ず同じ音楽サービスのアカウントを使用してください。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://support.google.com/assistant
Alexa が反応しない	ネットワークに接続された Alexa 搭載の機器にリクエストしていることを確認します。 Alexa が Bose アプリを使用して設定されていることを確認します (30 ページを参照)。 注: Bose アプリを使用してアンプを設定し、Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。 モバイル機器を Wi-Fi に接続します。 Amazon Alexa が利用可能な国にいることを確認します。 最新バージョンの Alexa アプリを使用していることを確認します。 お使いのモバイル機器が対応していることを確認します。 Bose アプリで設定した名前を言っていることを確認します。 その他のサポート情報は次のサイトをご覧ください: https://www.amazon.com/usealexa

症状	対処方法
アンプと Bose SoundLink Bluetooth speaker または Bose ヘッドホンを接続できない	スピーカーやヘッドホンの電源がオンになっている、アンプから 9 m 以内にあり、他のデバイスに接続できる状態になっていることを確認してください。詳細については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。 スピーカーやヘッドホンと他の機器との接続を解除します。
以前に接続されていた Bose SoundLink Bluetooth speaker または Bose headphones とアンプを再接続できない	Bose アプリを使用して接続します(42 ページを参照)。
接続した Bose SoundLink Bluetooth speaker や Bose headphones から音が遅れて再生される	一部の Bose SoundLink Bluetooth speaker や Bose headphones では、アンプに接続して完璧に同期した状態でオーディオを再生できない場合があります。お使いの製品が対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご覧ください。worldwide.bose.com/Support/Groups スピーカーやヘッドホンのソフトウェアアップデートがあればインストールします。アップデートを確認するには、モバイル機器で製品に該当する Bose アプリを開くか、パソコンから btu.bose.com にアクセスします。

アンプをリセットする

RESET ボタンを押すと、アンプがリセットされます。

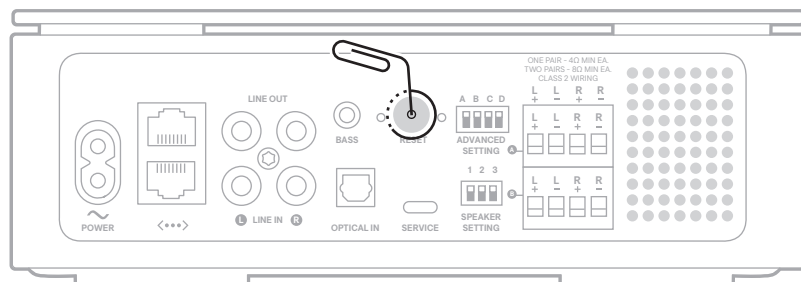
注: アンプをリセットしても、**ADVANCED SETTING** の設定や、**SPEAKER SETTING** の設定、ネットワークの設定には影響がありません。



アンプを工場出荷時のデフォルト設定に戻す

アンプの設定をデフォルトに戻すと、アンプのソース、音量、ネットワーク設定などがすべて消去され、出荷されたときの設定に戻ります。

アンプ背面の穴に細いゼムクリップの先端を差し込み、アンプ背面のインジケータが赤に3回点滅するまで10秒間長押しします。



設定の復元が完了すると、アンプ背面のインジケータがゆっくりとオレンジに点滅します。

注: アンプの設定をデフォルトに戻しても、**ADVANCED SETTING** の設定や **SPEAKER SETTING** の設定には影響がありません。

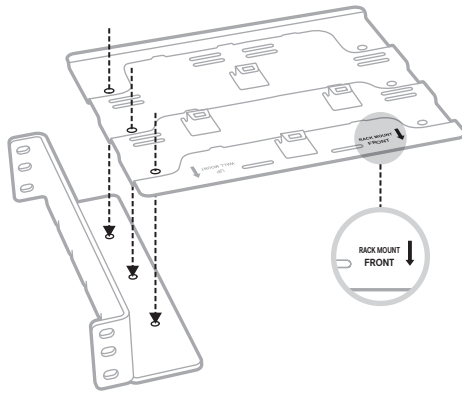
付属のマウント用ブラケットとラック用ブラケット、取り付け用部品を使って、アンプをラック(左側または右側)に取り付けることができます。

注意:

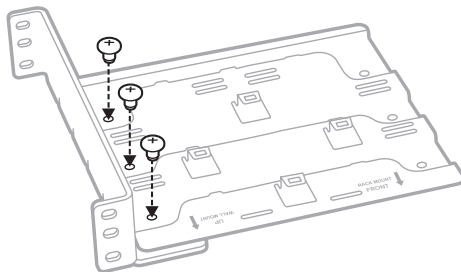
- ・ マウント用ブラケット、ラック用ブラケット、取り付け用部品は、アンプに付属のものを使用してください。
- ・ 複数のアンプをラックに取り付ける場合は、アンプごとに別のラックマウントを使用します。
- ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くにブラケットを取り付けたり、本製品を設置したりしないでください。

ブラケットを取り付ける

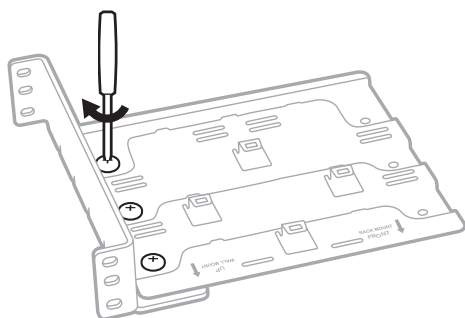
1. ラックマウントの矢印がラックの前面に向いていることを確認して、マウント用ブラケットの穴とラック用ブラケットの穴の位置を合わせます。



2. 接続ネジをマウント用ブラケットとラック用ブラケットに通します。

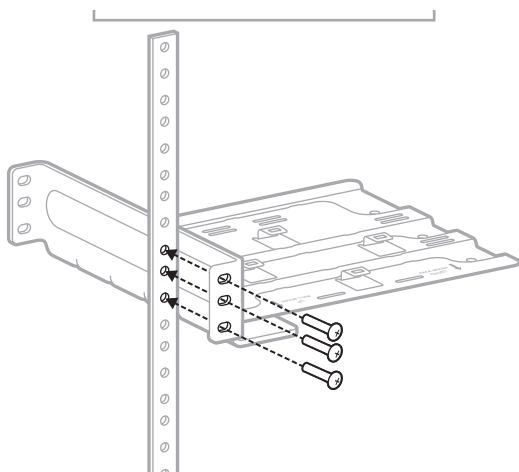


3. 小型のプラスドライバーを使用して、ネジを時計回りに回して固定します。



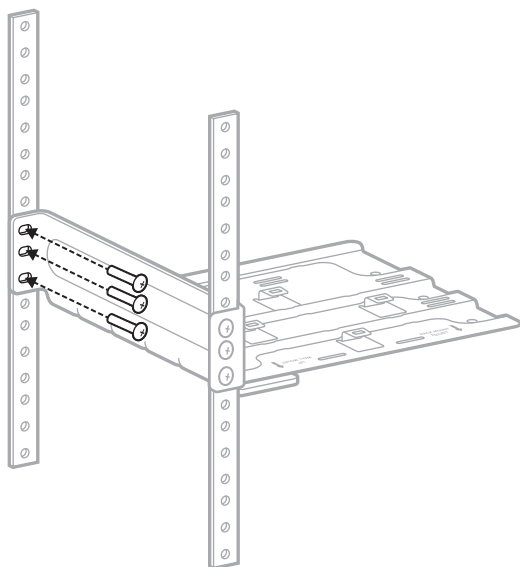
ラックに取り付ける

1. ラック用ブラケットの穴をラックに合わせます。
2. ラックマウント用ネジをラック用ブラケットとラックに通します。

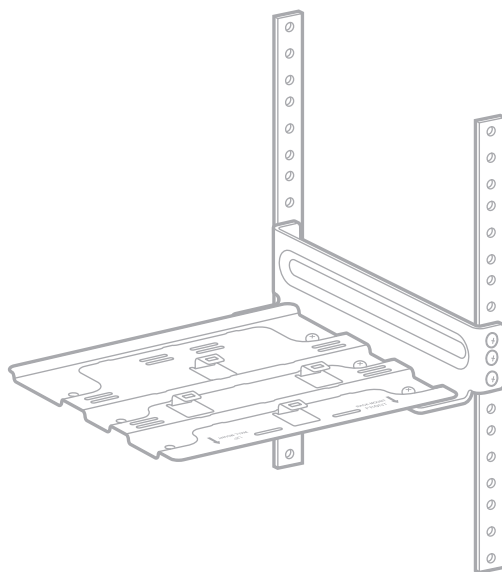


3. ネジを時計回りに回して固定します。

4. 手順1～3を繰り返して、ラック用ブラケットの反対側をラックに取り付けます。

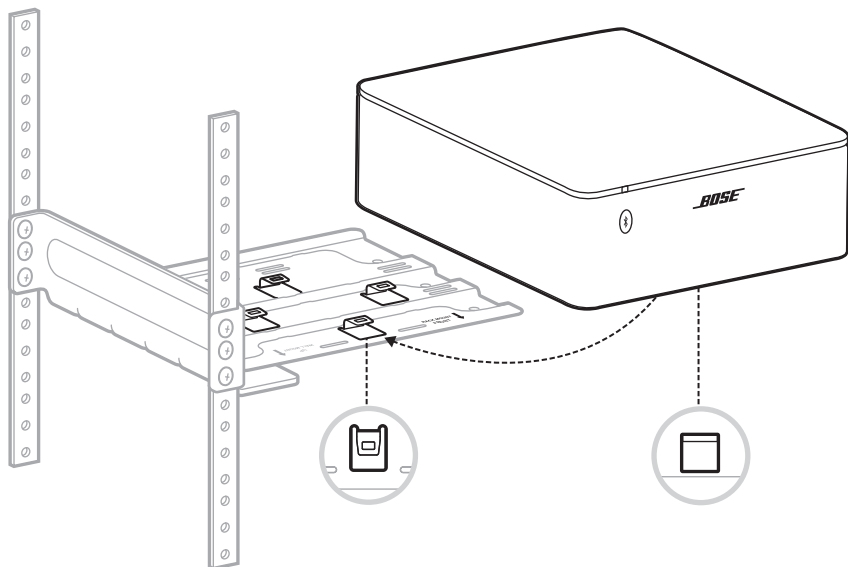


注: ラックの右側に取り付けるようにアセンブリを構成することもできます。

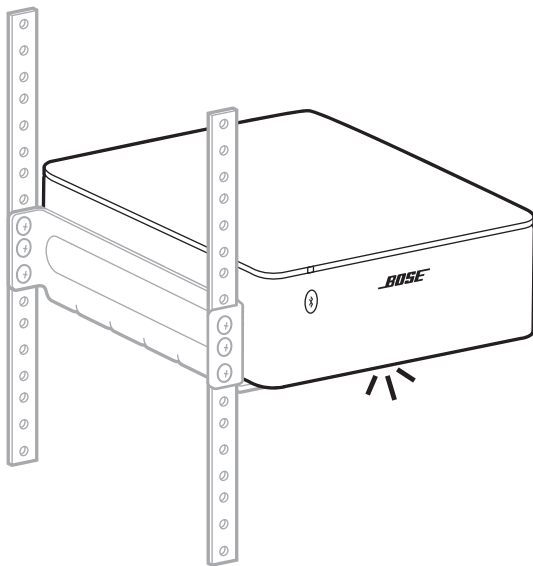


アンプを設置する

1. アンプの底面にある4つの開口部とマウント用ブラケットの4つのフックの位置を合わせます。



2. アンプをブラケットのフックに掛けながら後ろにスライドさせて、カチッと音がしてぴたりと収まるようにします。



注: アンプをマウント用ブラケットから取り外すには、アンプを前方にスライドさせてフックから外します。

取り付け用部品の仕様(目安)

マウント用ブラケットと取り付け用部品(別売)を使用して、アンプを壁に取り付けることができます。取り付け用部品を選ぶ際には、設置する取り付け面に適した部品を使用してください。

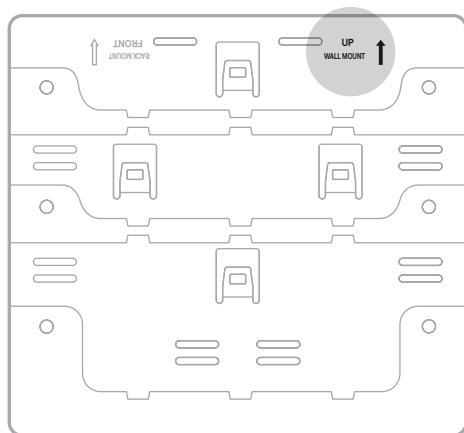
項目	木壁	板壁	コンクリート
壁の厚み	12.8 cm (½") 以上	9.5 mm (⅜") 以上	101.6 mm (4") 以上
ドリルビット	2.4 mm (⅜")	6.4 mm (¼")	6.4 mm (¼")
皿木ネジ (4本、別売)	M5 x 32 mm (#10 x 1¼")	使用しません	使用しません
アンカー (4本、別売)	使用しません	M5 (#10) 板壁アンカー 注: 4,536 g (10 lb) 以上の 定格荷重が必要。	M6 (#10) コンクリートアンカー 注: 4,536 g (10 lb) 以上の 定格荷重が必要。

警告: 壁の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などが隠れている場合は、使用しないでください。部品の取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。

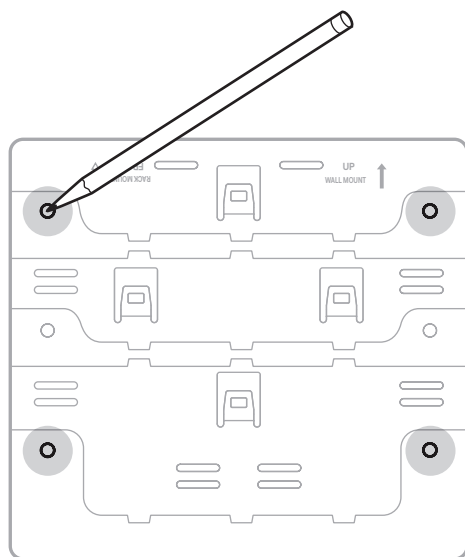
マウント用ブラケットを取り付ける

注意:

- ・ アンプに付属のマウント用ブラケットのみを使用してください。
 - ・ ブラケットを天井に取り付けしないでください。
 - ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くにブラケットを取り付けたり、本製品を設置したりしないでください。
1. ウォールマウントの矢印が上に向いていることを確認して、マウント用ブラケットを壁に設置する位置を決めます。

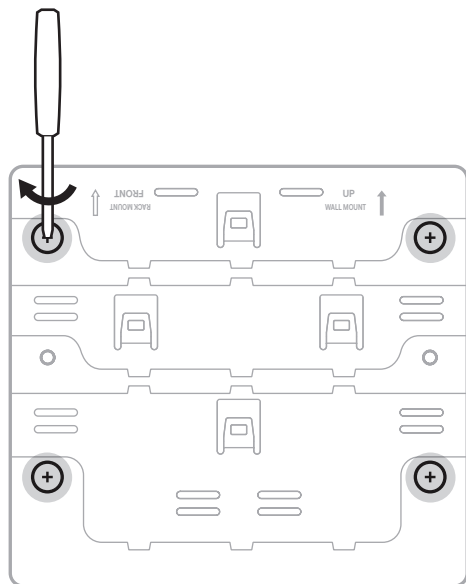


2. マウント用ブラケットの穴を通して、壁の4つの取り付け穴の位置に印を付けます。



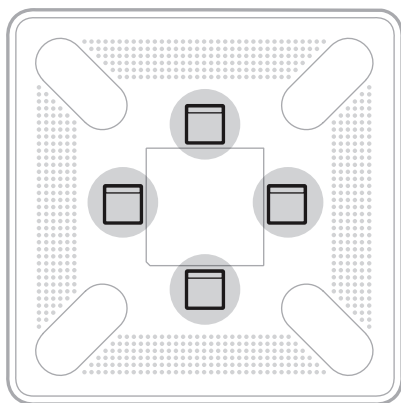
3. マウント用ブラケットを外します。
4. 壁にドリルで穴を4つ開けます。
 - ・ 木壁に取り付ける場合は、2.4 mm ($\frac{3}{32}$ ")の穴を開けて、手順5に進みます。
 - ・ 板壁やコンクリート壁に取り付ける場合は、アンカーに付属の説明書を参照して、適切な穴のサイズとブラケットを壁に取り付けるための手順を確認します。
5. マウント用ブラケットをドリルの穴に合わせます。

6. 4本のネジ(別売)をマウント用ブラケットに通します。
7. ドライバーを使用して、ネジを時計回りに締めて固定します。

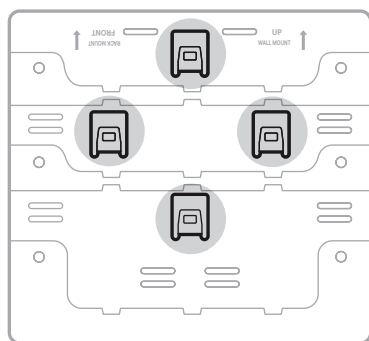


アンプを取り付ける

1. アンプの背面にある4つの開口部とマウント用ブラケットの4つのフックの位置を合わせます。

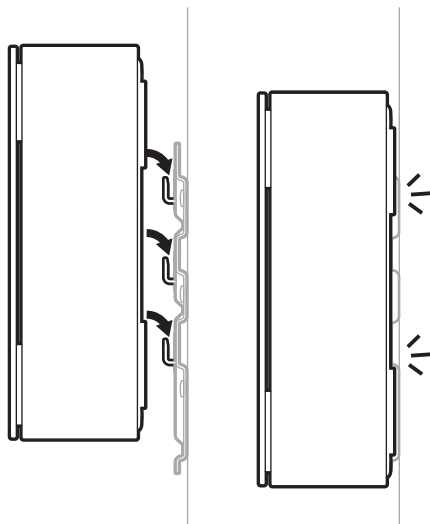


アンプの底面



マウント用ブラケット

2. アンプをブラケットのフックに掛けながら下にスライドさせて、カチッと音がしてぴったりと収まるようにします。



注: アンプをマウント用ブラケットから取り外すには、アンプを上へスライドさせてフックから外します。

メインアンプと外部アナログ/デジタルソースを接続するには、アナログソースの場合はRCA音声ケーブル、デジタルソースの場合は光ケーブル(いずれもケーブルは別売)を使用します。

注: 外部ソースからの音声を再生するには、Boseアプリを使用してアンプを設定する必要があります(20ページを参照)。

RCA 音声ケーブルを使用する

1. 外部ソースの白い**LINE OUT**端子にRCA音声ケーブルの白いコネクタを接続し、赤い**LINE OUT**端子に赤いコネクタを接続します。
2. メインアンプの白い**LINE IN**端子にもう一方の白いコネクタを接続し、赤い**LINE IN**端子に赤いコネクタを接続します。

光ケーブルを使用する

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。

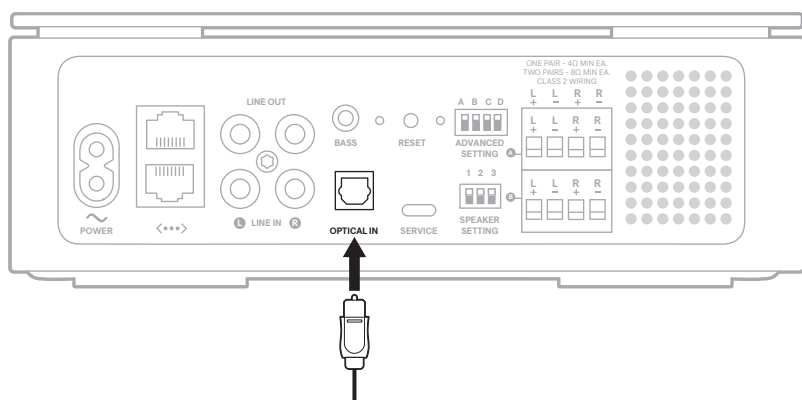


注意: キャップを付けたままプラグを差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 光ケーブルのプラグをソースの**OPTICAL OUT**端子に接続します。

注意: プラグの向きを間違えて差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

- メインアンプの**OPTICAL IN**端子にケーブルのもう一方を慎重に差し込みます。



注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

- カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。



